

産業部長（川北誠喜君）

能美市の環境教育に対して、市はどのように評価しているかについてお答えいたします。

先人が白砂青松として育ててきた海岸林は、今は松くい虫による被害により危機的な状況にあります。このような状況の中、隣の能美市では小・中学生がクロマツの植林などを行い、身近な関心を高め理解を深めていることは大変すばらしい環境教育であるというふうに考えております。

本市においても能美市の事例を参考にして、町内会やボランティア団体等の松の植栽や海岸林の清掃活動の際に、子供たちが参加し、海岸林の役割、保全などを学べるよう呼びかけていきたいというふうに考えております。